

JNSA
ANNOUNCE

1. 主催セミナーのお知らせ

● Network Security Forum 2005

日時：2005年12月1日(木)～2日(金)

会場：大手町サンケイプラザ 3F

※事前登録制／聴講無料

～個人情報保護法と情報セキュリティ対策にフォーカスしたコンファレンス～

2005年4月、個人情報保護法が施行されました。

企業は、個人情報の利用目的の特定や利用制限、情報漏洩防止など、安全管理のための必要な対策を義務づけられ、さらには違反者への罰則規定も盛り込まれました。

一方、コンピュータウイルスや不正アクセスの被害は日々増加し、企業全体のネットワークセキュリティ対策は、経営者のみならず私たちユーザーにとっても重要な課題と位置づけられています。

そうした情報資産に関する意識が益々高まる中、NSF2005では、経営戦略面と技術管理面の双方に注力したコンファレンスプログラムとJNSA会員企業による“IT資産をいかにして守るか”という知識向上に主眼を置いたセッションを展開していきます。

詳細はJNSAホームページでご確認下さい。

(http://www.jnsa.org/)

2. 協カイベントのお知らせ

1. 2005年JESAP電子署名認証フォーラム

会期：2005年8月31日(水)～9月1日(木)

主催：(財)日本情報処理開発協会電子商取引推進センター (JIPDEC/ECPC)

電子署名・認証利用パートナーシップ (JESAP)

日本PKIフォーラム (PKI-J)

会場：東京ウィメンズプラザ

http://www.japanpkiforum.jp/jesap/

2. SCMフォーラム2005

会期：2005年9月6日(火)～7日(水)

主催：社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会場：シェーンバウハサボー

http://www.logistics.or.jp/

3. モノづくり総合展九州2005

エネルギー・環境ビジネス総合展2005
eビジネス2005

会期：2005年9月7日(水)～9日(金)

主催：日刊工業新聞社

会場：福岡国際センター

http://www.nikkanseibu-eve.com

4. 平成17年度情報モラル啓発セミナー(島根)

会期：2005年9月16日(金)

主催：中小企業庁

財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

会場：くにびきメッセ

http://www.hyper.or.jp/moral2005/shimane/

5. 第6回ICCC(International Common Criteria Conference)2005

会期：2005年9月28日(水)～29日(木)

主催：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

会場：東京全日空ホテル

http://www.ipa.go.jp/event/iccc2005/index.html

6. ネットワーク・セキュリティ・ワークショップ
in 越後湯沢2005

会期：2005年10月6日(木)～8日(土)

主催：NPO新潟情報セキュリティ協会(ANISec)

会場：湯沢町公民館 イナモト旅館

http://www.yuzawaonsen.gr.jp/conf/

7. 平成 17 年度 情報モラル啓発セミナー (岩手)

会期：2005 年 10 月 25 日 (火)

主催：中小企業庁

財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

会場：ホテルメトロポリタン盛岡

<http://www.hyper.or.jp/moral2005/iwate/index.html>

8. SCMソリューションフェア 2005

会期：2005 年 11 月 29 日 (火) ～ 30 日 (水)

主催：社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会場：東京ビッグサイト

<http://www.logistics.or.jp/scm.html>

9. Internet Week 2005

会期：2005 年 12 月 6 日 (火) ～ 9 日 (金)

主催：社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC)

会場：パシフィコ横浜 会議センター

<http://internetweek.jp/index.html>

3. JNSA 部会・WG 2005 年度活動

1. 政策部会

(部会長：下村正洋 氏 / ディアアイティ)

調査事業や様々な基準・ガイドラインの策定、他団体との連携を行う。

【セキュリティ被害調査WG】

(リーダー：山田英史 氏 / ディアアイティ)

一年間に発生した情報セキュリティ被害の実態を調査することにより、情報セキュリティインシデントが組織に与えるインパクトを定量的に分析する。

主な活動内容としては、下記の通り。

- ・アンケートおよびヒアリングによる、年間の情報セキュリティ被害の実態調査
 - ・年間の個人情報漏洩事故・事件の分析による、想定損害賠償額の算定と株価への影響の検証。
- 予定成果物は、情報セキュリティインシデントに関する調査報告書。

【マーケットリサーチWG】

(リーダー：玉井節朗 氏 / IDG ジャパン)

日本における情報セキュリティの実態を調べ、2005 年度以降は実態調査数から今後の方向性を予測する。

2004 年度に行った調査を基に今後の方向性を予測、更なる製品別の動向にも調査を継続する。

予定成果物は、調査レポート。

【セキュリティ会計ガイドライン検討WG】

(リーダー：佐野智己 氏 / 凸版印刷)

企業における情報セキュリティ確保への取り組みを会計的視点から認識・評価・伝達 (ディスクロージャー) する仕組みとして、『環境会計』に倣い、『情報セキュリティ会計』を定義し、その基本的な考え方を取りまとめる。予定成果物は、JNSA 活動報告書、論文など。

【セキュア・システム開発ガイドラインWG】

(リーダー：丸山司郎 氏 / ラック)

個人情報保護法施行を契機に、一般の情報システムへの管理責任が要求されるようになったが、そのレベルなどの明確な基準は存在しない。

開発システムのセキュリティ評価基準としては ISO15408 が存在するが、どのレベルを選択すべきかが規定されていないことなどから、実装は難しい。

そこで、JNSA よりシステム開発に於けるセキュリティガイドラインを広く公開することにより、

1. 将来 ISO15408 等への国際標準への橋渡しをにらみながら、段階的に分かりやすく実施でき、
2. しかも、システムオーナーもその妥当性（システムの社会的責任と費用対効果）を合理的に判断でき、
3. 利用者の財産などの保護対策内容を明示でき、
4. システム開発者や、運用者（SI/SO）の適切な発展と競争により、
5. IT 社会の健全な発展への貢献をねらうものである。

予定成果物は、システムオーナーが、RFP に記載すべきセキュリティ要件としてのセキュア・システム開発ガイドライン。

【スパイウェア対策啓発WG】

（リーダー：蛭間久季 氏 / アークン）

ここ数年スパイウェア（不正プログラム）を利用した IT 犯罪が大きく世間を賑わしている。本 WG グループでは様々な団体、官公省庁との連携により、インターネット利用者へのスパイウェア（不正プログラム）対策の知識向上を目的として、幅広く啓発活動を実施することを主たる目的とし、ゆくゆくは JNSA 版スパイウェア対策ポータルサイトの公開を予定。

主な活動内容は以下を予定している。

- JNSA 版スパイウェア（不正プログラム）の定義の作成
- 既存の他 WG との意見交換勉強会
- 各官公省庁等や産業界（団体）への啓発協力呼びかけ及び勉強会
- インターネット利用者へのスパイウェア対策の知識向上の普及活動
- 海外におけるスパイウェア対策啓発の調査・研究など

2. 技術部会

（部会長：佐藤友治 氏 / IRI コミュニケーションズ）

ネットワークセキュリティに関する調査・研究や、実証実験などを行なう。その他、予算を得た活動は、プロジェクトとして活動を進める。

成果物目的のワーキンググループ

【セキュリティポリシーWG】

（リーダー：小杉聖一 氏 / NEC ソフト）

2004 年の活動を継続実施する。

ISMS 認証基準にマッチしたサンプルポリシーを公開し、実際の策定方法を討議していく。また管理策に対応

する適用すべきセキュリティ技術との対応についても調査し報告する。

予定成果物は、公開サンプルの改版と ISMS (X5080) との対応表。

【不正プログラム調査WG】

（リーダー：渡部章 氏 / アークン）

トロイの木馬、スパイウェア、リモートアクセスツールなど、不正アクセスを目的にしたハッキングツールが増加している。また、ウイルス、ワームも同様に近年では不正アクセスを目的としたものも少なくない。当 WG では、不正プログラムを分類化し、タイプ別、レイア別に、その対策ソリューションを調査、整理し、マッピング化する。

予定成果物は、不正プログラム対策ガイドラインの策定。

【ハニーポットWG】

（リーダー：園田道夫 氏 / JNSA 研究員）

ハニーポット関連技術の研究と、実際の運用を通して得られるデータの解析とフィードバックを行う予定。

予定成果物は、ハニーポットから得られたデータの解析報告書。

【S/MIME 検討WG】

（リーダー：磐城洋介 氏 / NTT コムウェア）

2004 年度より引き続き、メールクライアントの S/MIME 機能の評価を行う。脆弱性を発見し IPA 等に報告する。メール利用者向けの S/MIME 機能ガイドライン（仮称）を Web コンテンツとして作成し公開する。S/MIME メール の普及やベンダに対するメールクライアントの機能向上を促すことを目指す。

予定成果物は、S/MIME メーラ検証レポート。

【Web アプリケーションセキュリティWG】

（リーダー：二木真明 氏 / 住商情報システム）

ここ 1、2 年でクローズアップされながら、ユーザーのみならず、ベンダにおいても、まだまだ認識が充分とはいえない Web アプリケーションのセキュリティについて考える。いくつかのテーマについて分科会的に検討を進めながら、月 1 回の全体会で、各分科会の進捗や成果についてレビューし、深めていく。当面のテーマとしては以下のようなものを考えている。

- Web アプリケーションセキュリティについての啓発コンテンツの作成
- Web アプリケーションセキュリティ受発注用ガイドラインの検討

- ・ 攻撃手法などの技術的テーマを掘り下げる

予定成果物は、セミナー用コンテンツ一式・Webアプリケーションセキュリティ要件ガイドライン・攻撃手法研究レポートなど。

【脆弱性定量化に向けての検討WG】

(リーダー：郷間佳市郎 氏 / 京セラコミュニケーションシステム)

脆弱性の定量化アプローチについて、国外の情報を含め検討を行い、WGとしての検討結果を出す。

成果物として報告書を作成する予定。

【暗号モジュール評価基準WG】

(リーダー：小川博久 氏 / シーフォーテクノロジー)

以下の動向把握及び、ベンダーとしての取組み方を議論し、必要に応じて提言などを行う。

- ・ 米国及び、カナダの暗号モジュールのセキュリティ要件及び、評価制度
- ・ 同要件の国際標準化
- ・ 日本国における同要件及び評価制度

予定成果物は、必要に応じて行う提言と研究報告の作成。

勉強会目的のワーキンググループ

【データストレージ&セキュリティWG】

(リーダー：立身俊雄 氏 / ディアイティ)

ストレージ導入時にセキュリティ対策を求められているケースが増加。技術的、運用を含めた事例を基にセキュリティ対策の勉強会を開催の予定。

【PKI 相互運用技術WG】

(リーダー：松本泰 氏 / セコム)

安全、安心な社会を構築する上でPKIの必要性を社会にアピールし、ネックとなるPKI相互運用性の問題などを自ら解決していく。主な活動予定は、WGの開催、IETFの参加、セミナー開催など。

3. マーケティング部会

(部会長：古川勝也 氏 / マイクロソフト)

JNSA自身の認知度向上と、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。

【セキュリティ啓発WG】

(リーダー：古川勝也 氏 / マイクロソフト)

「インターネット安全教室」の企画・運営を通しセキュリティ啓発活動を行う。

2005年4月～8月にCD-ROM映像及び冊子のリニューアル製作を行なうと共に、2005年6月～2006年3月にかけて全国約20ヵ所で「インターネット安全教室」を実施予定。

【セキュリティスタジアムWG】

(リーダー：園田道夫 氏 / JNSA 研究員)

セキュリティスタジアムや技術セミナーを開催し、広くセキュリティ技術の啓発を行う。

4. 教育部会

(部会長：佐々木良一 氏 / 東京電機大学教授)

ネットワークセキュリティ技術者の育成のために、産学協同プロジェクトを進め、大学や企業で行うべき教育のカリキュラムの検討やユーザー教育の在り方についての調査・検討などを行なう。

【CISSP-WG】

(リーダー：大河内智秀 氏 / NTTコミュニケーションズ)

CISSP資格認定者が更に日本国のセキュリティ保全の価値を高めるための上級資格を日本向けに作成する際に新規追加すべきドメインについて検討し、策定を行う。

【情報セキュリティ推奨教育検討WG】

(リーダー：持田啓司 氏 / SEA/J)

情報セキュリティ教育WGとして活動を始めていたが、内容を見直し再出発した。

既存の良く知られている教育コース等の調査と整理を行い、キャリアパスや研修ロードマップ等の関係を必要スキル項目などの観点で整理する。これを基にして、情報セキュリティ対策のための組織デザイン論に関する議論を行い、報告書としてまとめることを目標としている。

プロジェクト

【情報セキュリティ教育実証実験プロジェクト】

(リーダー：松田剛 氏 / ヒューコム)

情報セキュリティ教育の実践を全国レベルで展開するために、教育に必要な実施環境や、サンプルとなる教育カリキュラムについての実証実験と評価検討を行う。経

済産業省の委託プロジェクトとして、昨年度の東京電機大学での環境構築や実証教育の成果を生かし、更に複数の教育機関での実証実験を行い、情報セキュリティ教育を広く実施できる要件などを整理し報告書を作成する。

5. 西日本支部

(支部長：井上陽一 氏 / ヒューコム)

JNSA 西日本支部は関西に拠点を置くメンバー企業の協賛の下、西日本におけるネットワーク社会のセキュリティレベルの維持・向上並びに、日々高まる情報セキュリティへのニーズに応えるべく、先進性を追及すると共に、質の高いサービスを提供する事を目的として活動する。今年度も引き続き関西方面でのセキュリティ啓発セミナーを中心に活動を行う。

【セミナー運営WG】

(リーダー：中台芳夫 氏 / 西日本電信電話)

西日本に拠点を持つ一般企業やユーザを対象に、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。また西日本支部会員企業間の知識共有、西日本にてインターネット普及活動を行う NPO とのネットワークセキュリティ啓発に向けた連携を行う。その他、勉強会・セミナーの開催を予定している。

【中小企業向け個人情報保護対策WG】

(リーダー：市川順之 氏 / 伊藤忠テクノサイエンス)

2005年4月の個人情報保護法完全施行に対して中小企業がどのような状況に陥るのか、また、できる対策は何かあるのか、等についてどう対処したらいいのかについて調査し、運用編としてまとめることを目的とする。

4. JNSA 役員一覧 (2005年7月31日現在)

会長 石田 晴久
多摩美術大学教授・東京大学名誉教授
副会長 田中 芳夫
マイクロソフト株式会社
副会長 長尾 多一郎
株式会社ネットマークス
副会長 大和 敏彦
シスコシステムズ株式会社

理事 (50音順)

在賀 良助 株式会社アイアイジェイテクノロジー
井上 陽一 株式会社ヒューコム
後沢 忍 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
浦野 義朗 株式会社フォーバルクリエイティブ
甲斐 龍一郎 新日鉄ソリューションズ株式会社
川上 博康 セコムトラストネット株式会社
後藤 和彦 株式会社大塚商会
小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社
下村 正洋 株式会社ディアアイティ
鷺見 晴美 株式会社ネットマークス
武智 洋 横河電機株式会社
田中 辰夫 マカフィー株式会社
玉井 節朗 株式会社IDGジャパン
辻 久雄 NTTアドバンステクノロジー株式会社
西尾 秀一 株式会社NTTデータ
西本 逸郎 株式会社ラック
野久保 秀紀 大日本印刷株式会社
野々下 幸治 株式会社シマンテック
坂内 明 東芝ソリューション株式会社
日暮 則武 東京海上日動火災保険株式会社
古川 勝也 マイクロソフト株式会社
松尾 直樹 NTTコミュニケーションズ株式会社
山野 修 RSAセキュリティ株式会社
若井 順一 グローバルセキュリティエキスパート株式会社

監事

土井 充 (公認会計士 土井充事務所)

顧問

今井 秀樹 東京大学 教授
北沢 義博 霞が関法律会計事務所 弁護士
佐々木良一 東京電機大学 教授
武藤 佳恭 慶応義塾大学 教授
前川 徹 早稲田大学 客員教授
村岡 洋一 早稲田大学 教授
安田 浩 東京大学 教授
山口 英 奈良先端科学技術大学院大学 教授
吉田 眞 東京大学 教授

事務局長

下村 正洋 株式会社ディアアイティ

【あ】

(株) アークン
 RSAセキュリティ (株)
 (株) アイアイジェイ テクノロジー
 (株) アイ・ソリューションズ
 (株) IRIコミュニケーションズ
 (株) IDGジャパン
 (株) ITサービス
 (株) アイ・ティ・フロンティア
 (株) アイネス
 アイネット・システムズ (株)
 (株) IPイノベーションズ
 アイマトリックス (株)
 (株) アクセス・テクノロジー
 (株) 網屋
 アライドテレシス (株)
 アラクサラネットワークス (株)
 (株) アルゴ21
 (株) アルテミス
 (株) イオノス
 伊藤忠テクノサイエンス (株)
 学校法人 岩崎学園
 インターネット セキュリティ システムズ (株)
 インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマテックス (株)
 (株) インテリジェントウェイブ
 インテリジェントディスク (株)
 インフォコム (株)
 (株) インフォセック
 (株) インプレス
 ウチダイノベーションテクノロジー (株) **New**
 ウッドランド (株)
 エー・アンド・アイ システム (株) **New**
 AT&Tグローバル・サービス (株)
 (株) エクスフロント
 (株) エス・アイ・ディ・シー
 エス・アンド・アイ (株)
 (株) エス・エス・アイ・ジェイ
 SSHコミュニケーションズ・セキュリティ (株)
 (株) エス・シー・ラボ
 NRIセキュアテクノロジーズ (株)
 NRIデータサービス (株)

NECソフト (株)
 NECネクサソリューションズ (株)
 NTTアドバンステクノロジー (株)
 NTTコミュニケーションズ (株)
 エヌ・ティ・ティ・コムウェア (株)
 エヌ・ティ・ティ・コムチエオ (株)
 (株) NTTデータ
 (株) エネルギア・コミュニケーションズ
 F5ネットワークスジャパン (株) **New**
 エムオーテックス (株)
 (株) エム・ファクトリー
 エリアビイジャパン (株)
 (株) 大塚商会
 オムロンフィールドエンジニアリング (株)

【か】

韓国電子通信研究院
 (株) ギガプライズ
 キヤノンシステムソリューションズ (株)
 キヤノン・スーパーコンピューティング・エスアイ (株)
 京セラコミュニケーションシステム (株)
 (株) ギガプライズ
 (株) クインランド
 クオリティ (株)
 KLab (株)
 (株) グローバルエース
 グローバルセキュリティエキスパート (株)
 クロス・ヘッド (株)
 (株) クロスワープ
 (株) コシダテック
 (株) コネクタス
 コンピュータ・アソシエイツ (株)
 コンピューターサイエンス (株)

【さ】

サーフコントロール ジャパン
 サイバーソリューション (株)
 サン電子 (株) **New**
 サン・マイクロシステムズ (株)
 (株) CRCソリューションズ
 (株) シーエーシー **New**

(株) シー・エス・イー
 ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン (株)
 (株) シーフォーテクノロジー
 (株) ジェイエムシー
 ジェイズ・コミュニケーション (株)
 シスコシステムズ (株)
 (株) シマンテック
 シムデスク・テクノロジーズ
 寿限無 (株)
 (株) 翔泳社
 (株) 情報数理研究所
 新日鉄ソリューションズ (株)
 新日本監査法人 **New**
 函研ネットウエイブ (株)
 (株) ステラクラフト
 住商情報システム (株)
 住生コンピューターサービス (株)
 セイコープレジジョン (株)
 セキュアコンピューティングジャパン (株)
 (株) セキュアソフト
 (株) セキュアブレイン
 セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン
 セコム (株)
 セコムトラストネット (株)
 (株) セゾン情報システムズ
 セントラル・コンピュータ・サービス (株)
 ソニー (株)
 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ (株)
 ソフトバンクBB (株)
 ソラン (株)
 (株) ソリトンシステムズ
 ソレキア (株)
 (株) 損保ジャパン・リスクマネジメント

【た】

大興電子通信 (株)
 大日本印刷 (株)
 ダイヤモンドコンピューターサービス (株)
 (株) タクマ
 中央青山監査法人
 TIS (株)

(株) ディアイティ
 テクマトリックス (株)
 デジタルアーツ (株)
 デジボックス (株)
 (株) 電通国際情報サービス
 監査法人トーマツ
 東京海上日動火災保険 (株)
 東京情報コンサルティング (株)
 東京日産コンピュータシステム (株)
 東芝ソリューション (株)
 東洋ネットワークシステムズ (株)
 凸版印刷 (株)
 トップレイヤーネットワークスジャパン (株)
 トリップワイヤ・ジャパン (株)
 トレンドマイクロ (株)

【な】

(株) ニコンシステム
 西日本電信電話 (株)
 日商エレクトロニクス (株)
 日本アイ・ビー・エム (株)
 日本アイ・ビー・エム システムズエンジニアリング (株)
 日本オラクル (株)
 日本高信頼システム (株)
 日本コムシス (株)
 日本ジオトラスト (株)
 (株) 日本システムディベロップメント
 日本セーフネット (株)
 日本電気 (株)
 日本電気エンジニアリング (株)
 日本電信電話 (株) 情報流通プラットフォーム研究所
 日本ビジネスコンピューター (株)
 日本ユニシス (株) **New**
 ネクストコム (株)
 (株) ネット・タイム
 (株) ネットマークス
 (株) ネットワークセキュリティテクノロジージャパン
 ネットワンシステムズ (株)

【は】

(株) ハイエレコン

東日本電信電話 (株)
 (株) 日立システムアンドサービス
 (株) 日立製作所
 日立ソフトウェアエンジニアリング (株)
 (株) ヒューコム
 (株) ビー・エス・ピー
 (株) PFU
 (株) フォーバル クリエーティブ
 富士ゼロックス (株)
 富士ゼロックス情報システム (株)
 富士通 (株)
 富士通エフ・アイ・ピー (株)
 富士通関西中部ネットテック (株)
 富士通サポートアンドサービス (株)
 (株) 富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 (株) 富士通ビジネスシステム
 富士電機アドバンステクノロジー (株) **New**
 扶桑電通 (株)
 (株) フューチャーイン
 (株) ぷららネットワークス
 (株) ブリッジ・メタウェア
 (株) プロティビティジャパン

【ま】

(株) マイクロ総合研究所
 マイクロソフト (株)
 マカフィー (株)
 松下電工 (株)
 みずほ情報総研 (株)
 三井物産セキュアディレクション (株) **New**
 (株) 三菱総合研究所
 三菱電機 (株) 情報技術総合研究所
 三菱電機情報ネットワーク (株)
 (株) メトロ

【や】

ユーテン・ネットワークス (株) **New**
 横河電機 (株)

【ら】

(株) ラック

リコーテクノシステムズ (株)
 リコー・ヒューマン・クリエイツ (株) **New**
 菱洋エレクトロ (株)
 (株) ロボック

【特別会員】

特定非営利法人 アイタック
 ジャパン データ ストレージ フォーラム
 電子商取引安全技術研究組合 **New**
 東京大学大学院 工学系研究科
 社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
 社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会

6. JNSA 年間活動 (2005 年度)

4 月	4 月 13 日	第 1 回技術部会リーダー会	
	4 月 13 日	第 1 回幹事会	
	4 月 19 日	第 1 回教育部会	
	4 月 26 ~ 27 日	UML Forum/Tokyo 2005 後援	
	4 月 28 日	第 1 回西日本支部会合	
5 月	5 月 10 日	2005 年度理事会	
	5 月 10 日	迷惑メール対策カンファレンス後援	
	5 月 11 日	2005 年度技術部会	
	5 月 12 ~ 13 日	RSA カンファレンス 2005 Japan 後援	
	5 月 13 日	第 1 回政策部会	
	5 月 13 日	第 3 回セキュア OS カンファレンス後援	
	5 月 19 ~ 21 日	第 9 回コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム後援	
5 月 31 日	第 2 回幹事会		
6 月	6 月 6 ~ 10 日	NetWorld+Interop 2005 Tokyo 後援	
	6 月 13 日	WG 成果報告会開催 (大手町サンケイプラザ)	
	6 月 13 日	2005 年度総会 (大手町サンケイプラザ)	
	6 月 16 日	HOSTING-PRO 2005 後援	
	6 月 21 日	2005 年度 JASA 情報セキュリティ監査フォーラム東京後援	
	6 月 28 日	インターネット安全運動シンポジウム	
7 月	7 月 1 日	第 2 回西日本支部会合・勉強会	
	7 月 7 日	第 3 回幹事会	
	7 月 13 ~ 15 日	自治体総合フェア 2005 協賛	
	7 月 13 ~ 15 日	ワイヤレスジャパン 2005 後援	
	7 月 15 日	JaSST in OSAKA 2005 後援	
	7 月 25 日	第 1 回 データベース・セキュリティ・コンソーシアム セミナー後援	
8 月	8 月 2 ~ 7 日	セキュリティキャンプ 2005 後援	
9 月	9 月 7 ~ 9 日	モノづくり総合展九州 2005 後援	
	9 月 28 ~ 29 日	第 6 回 ICCC (International Common Criteria Conference) 2005 後援	
10 月	10 月 6 ~ 8 日	ネットワーク・セキュリティ・ワークショップ in 越後湯沢 2005 協力	
12 月	12 月 1 ~ 2 日	Network Security Forum 2005 主催	
	12 月 6 ~ 9 日	Internet Week 2005 共催	

★ JNSA 活動スケジュールは、<http://www.jnsa.org/active/suchedule.html>に掲載しています。

★ JNSA 部会、WG の会議事録は会員情報のページは、<http://www.jnsa.org/member/member1.html>に掲載しています。(JNSA 会員限定です)

7. JNSA について

■会員の特典

1. 各種部会、ワーキンググループ・勉強会への参加
2. セキュリティセミナーへの会員料金での参加および主催カンファレンスへの招待
3. 発行書籍・冊子の配布
4. JNSA 会報の配布（年3回予定）
5. メーリングリスト及び Web での情報提供
6. 活動成果の配布
7. イベント出展の際のパンフレット配付
8. 人的ネットワーク拡大の機会提供
9. 調査研究プロジェクトへの参画

8. お問い合わせ

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35

T.T. ランディック東陽町ビル

TEL: 03-5633-6061

FAX: 03-5633-6062

E-Mail: sec@jnsa.org

URL: <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 2-3-14

西宝西天満ビル 4F (株)ヒューコム内

TEL: 06-6362-2666

入会方法

Web の入会申込フォームにて Web からお申し込み、または、書面の入会申込書を FAX・郵送にてお送り下さい。折り返し事務局より入会に関する御連絡をいたします。

9. 編集後記

今年の夏は記録的猛暑だと言われ、連日連夜、熱帯夜が続きました。

暦の上でもすでに秋、みなさまいかがお過ごしでしょうか。現在事務局ではすでに、2005 年度を締めくくる "年末の2大イベント" へ向けて大奮闘中です。

12月1日(木)～2日(金)はJNSA主催のネットワークセキュリティに特化したイベント、『Network Security Forum (NSF)』が、翌週12/6日(火)から4日間、連日開催される "Internet week2005" では、JPCERT/CC、Telecom-ISac Japan と一緒に、8日(木)の1日に限り、『Security Day』と称する情報セキュリティに注力したセッションの開催が予定されています。

気になるセッション内容の方は、2005 年度を語るにふさわしいトピックスが揃い、"これを聞かずに 2005 年のネットワークセキュリティは語れない!"・・・という少々オーバーなようですが、会員企業の皆様に楽しんでいただけるラインナップではないかと思えます。

イベントに関する詳細とお申し込みについては会員企業の皆様へメールで配信予定のお知らせか、JNSA のホームページをご確認下さい。

会員企業の皆様からの、多数のご参加、心よりお待ちしております。

(事務局)

JNSA Press vol.14

2005 年 8 月 31 日発行

©2005 Japan Network Security Association

発行所 特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

〒136-0075

東京都江東区新砂 1-6-35 T.T. ランディック東陽町ビル

TEL: 03-5633-6061 FAX: 03-5633-6062

E-Mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

印刷 プリンテックス株式会社



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会会員 行動指針

NPO 日本ネットワークセキュリティ協会は、ネットワーク社会の情報セキュリティレベルの維持・向上及び日本における情報セキュリティ意識の啓発に努めるとともに、最新の情報セキュリティ技術および情報セキュリティへの脅威に関する情報提供などを行うことで、情報化社会へ貢献することを目的としております。

そのため、以下の通り会員の行動指針を定め、規範とするよう努めます。

会員は、この指針の遵守に努め、会の目的を共有するにふさわしい姿を目指します。

1. 自ら情報セキュリティポリシーを定め、他の手本となるような運用に努めます。
2. お客様の情報などの重要情報に関して、その取扱い手続きを明確にし、管理するように努めます。
3. 自ら取り扱う製品およびサービスについて、その情報セキュリティレベルの維持・向上に努めます。
4. 自ら公開するインターネットサイトおよびメール等のサーバ類について、その情報セキュリティレベルの維持・向上に努めます。
5. 情報セキュリティに関連する法規・法令等を遵守します。
6. 自らの構成員に対して、情報セキュリティポリシー及びその実施手順について教育・訓練を繰返し実施することに努めます。
7. クラッキングなどの不正行為を許さず、その撲滅に努めます。



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35 T.T.ランディック東陽町ビル1階
TEL 03-5633-6061 FAX 03-5633-6062
E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満2-3-14 西宝西天満ビル4F (株)ヒューコム 内
TEL 06-6362-2666